【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【公開番号】特開2000-354291(P2000-354291A)
【公開日】平成12年12月19日(2000.12.19)
【出願番号】特願平11-163656
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｒ　3/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｒ　3/00　３２０
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成18年6月6日(2006.6.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
【発明が解決しようとする課題】
この種のカメラ一体型ＶＴＲにおいては、撮影者の音声は常に大きな声で記録される。従って、遠く離れた被写体を撮影している場合、被写体と撮影者との音声の信号レベルが大きく異なってしまう。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３６】
ただし、本形態では、検波回路４０３によりマイク１０３からの音声信号の無音期間を検出した場合、コントロールレベル設定回路４１１はＲＥＡＲの音声信号が入力された場合であっても無音にするのではなく、所定のレベルになるよう制御信号を発生する。